学校番号	１０８

令和２年度　情報科

教科	情報	科目	社会と情報	単位数	２単位	学年	第１学年
使用教科書	新・社会と情報（日本文教出版）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・時間、場所を問わずに情報を手に入れることができる情報社会の中で生きていくために、適切に情報を処理し、活用できる力を身に付けていきましょう。
・情報社会の利点や問題点を自ら考え、責任のある行動ができるようになりましょう。
・IT を利用した様々な分野への発展・可能性に興味をもち、将来の自己実現のために「考える力」・「生きる力」を身につけましょう。

２　学習の到達目標

・日常の様々な課題を解決するために、コンピュータを活用して、情報の収集や整理、発信を行うことができる。
・情報化が社会に及ぼす影響やネットワーク上での情報発信の責任を理解した上で、積極的に情報社会に参画することができる。
・プログラミング言語の基礎を理解し、ネットワークの仕組みやアルゴリズムについて理解することができる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	・情報社会に主体的に参画し、その発展に寄与しようとする態度 ・情報社会における情報発信の責任について考え、行動しようとする態度 ・積極的にコンピュータを利用し、情報の整理・発信をしようとする態度	・問題の発見・解決に向けて情報技術を適切かつ、効果的に活用する力 ・コンピュータを活用し、複数の情報を結び付けて、新たな意味を見出す力	・情報と情報技術を活用するための基礎・基本的な技能を身に付け、目的に応じて、情報および情報技術を適切に扱い、応用できる力	・情報社会の進展と社会に及ぼす影響、情報に関する法・制度やマナーの意義と情報社会において個人が果たす役割や責任についての理解 ・情報技術を適切に活用するための知識
評価方法	学習状況の観察 プリントやレポートの記述 実習作品 発表 相互評価・自己評価 等	学習状況の観察 プリントやレポートの記述 発表 実技試験の結果 等	学習状況の観察 課題作品 発表 実技試験の結果 等	学習状況の観察 プリントやレポートの記述 発表 実技試験の結果 等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	情報社会とコミュニケーション	○オリエンテーション ・コンピュータの使い方 ・タイピング練習	○			○	a:コンピュータを活用し、学習に積極的に取り組もうとしている。 b:情報社会におけるコミュニケーションの利点や問題点について考えることができる。 c:文書処理ソフトウェアを適切に利用することができる。また、インターネットを利用して適切に情報収集を行うことができる。 d:コンピュータやソフトウェアを活用するための知識を理解することができる。また、情報社会におけるコミュニケーションの特性について理解している。	授業観察 プリント記述 実習作品 等
		○情報社会とコミュニケーション ・文書作成ソフトの活用	○	○	○	○		
		○情報の収集と信憑性の判断 ・インターネットの利用 ・メディアリテラシー	○	○		○		
	情報社会と情報モラル	○サイバー犯罪とその対策	○			○	a:情報モラルや法について関心をもち、積極的に学習に取り組もうとしている。 b:情報技術や法や制度を人間との関わりから考え、その結果を適切に表現している。 c:表計算ソフトを適切に利用することができる。また情報モラルや法を踏まえて、情報技術を活用することができる。 d:情報モラルや法について理解する。また、ソフトウェアを効果的な活用方法について理解している。	授業観察 プリント記述 実習作品 課題作品 試験 等
		○個人情報とプライバシー	○			○		
		○レポートの作成 ・表計算ソフトの活用 ・文書処理ソフトの活用	○	○	○	○		

2学期	情報社会とディジタル技術	○コンピュータとディジタルデータ ・画像編集ソフトの利用 ○情報量の単位 ○プレゼンテーション ・プレゼンテーションソフトの利用	○ ○ ○	 ○	 ○	○ ○ ○	a:コンピュータの仕組みやディジタル化について興味を持ち、学習に積極的に取り組もうとしている。 b:情報をディジタル化することの利点や問題点について考えることができる。 c:情報機器を用いて、ディジタル化した情報を編集し、発信することができる。また、収集した情報を適切に処理し、プレゼンテーションにて発信することができる。 d:コンピュータの仕組みやディジタル化について理解している。画像編集ソフトやプレゼンテーションソフトの活用方法について理解している。	授業観察 プリント記述 実習作品 プレゼンテーション評価 等
	ネットワークとプログラミング	○インターネットのしくみ ・WWW と電子メール ○アルゴリズムとプログラム ・プログラミングの基礎 ○プログラミング実習 ・HTML 言語と CSS 言語	○ ○ ○	 ○	 ○ ○	○ ○ ○	a:ネットワークや電子メールについて興味を持ち、学習に積極的に取り組もうとしている。 b:インターネットや電子メールの利点や問題点、プログラミングの重要性について考えることができる。 c:プログラミング言語を用いて、実習に取り組み、課題を作成することができる。 d:プログラミング言語の種類やアルゴリズムについて理解している。インターネットのしくみを理解している。	授業観察 プリント記述 実習作品 課題作品 試験 等

3学期	情報社会と問題解決	○情報社会と情報システム ○グループワークの実践 ○成果報告	○ ○ ○	 ○ ○	 ○ ○	○ ○ ○	a:情報社会の問題点に関心を持ち、グループワークやプレゼンテーションに積極的に取り組もうとしている。 b:情報システムが社会にどう影響しているかを考えることができる。 c:問題解決で使える手法を用いてグループワークを実践することができる。 d:情報システムが及ぼす社会への影響を理解している。また、問題解決に向けたプロセスや手法を理解している。	授業観察 プリント記述 課題作品 等

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。